

がっ ど い り ん ぼ か ん  
12月 土居隣保館カレンダー

にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
	1	2	3	4 入ロ-IAロビッヅ 10:00～	5	6
7 しこくちゅうおうし 四国中央市 じんけん 人権のつどい	8 クラフト バンド教室 きょうしつ 10:00～	9	10 じんけんざだんかい 人権座談会 18:30～	11 入ロ-IAロビッヅ 10:00～	12	13 なわきょうしつ しめ縄教室 9:00～
14	15	16	17	18 入ロ-IAロビッヅ 10:00～	19	20 もっこうきょうしつ 木工教室 10:00～
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

ど い り ん ぼ か ん だ よ  
土居隣保館便り

ねん  
2025年  
12 がつごう  
月号

はっこう ど い り ん ぼ か ん  
発行:土居隣保館  
どいちようふじわら  
〒799-0703 土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

「あなたに会えてよかった」開催します！

にち じ がつ にち がつ にち  
日時：12月1日～1月23日

ば しょ ど い り ん ぼ か ん  
場所：土居隣保館 9:00～16:00

よ やく てんわよく ねが  
予約：電話予約をお願いします

と あ ど い り ん ぼ か ん  
問い合わせ：土居隣保館 0896-28-6356 (8時30分～17時15分)

12月1日から1月23日まで土居隣保館で「あなたに会えてよかった」を開催しています。「あなたに会えてよかった」では、クイズをしたり、お母さんのお腹に赤ちゃんが誕生して、生まれるまでの様子について紙芝居を見たりします。その後、段ボールで作られたお母さんのお腹の中に入り、赤ちゃんが大きくなっていく様子を見ます。その様子から、自分たちはお母さんのお腹の中で大切に育てられたことに気づいて欲しいと思います。また、この活動では、子どもが生まれたときに周りの人が喜ぶ様子を感じたり、生まれたばかりの赤ちゃんの人形に実際に触れたりします。最後に、保護者に書いてもらった子どもが生まれたときの家族の喜びや子どもに対する願いを紹介して、自分の命の大切さ・相手の命の大切さを感じてもらえたら嬉しいです。この活動を通して、赤ちゃんが生まれたときの家族の喜びと願い「あなたに会えてよかった」という家族の思いに気づいて欲しいと思います。

なわきょうしつ  
「しめ縄教室」開催します。

にち じ がつ にち  
日時：12月13日(土) 9:00～12:00

ば しょ ど い り ん ぼ か ん  
場所：土居隣保館

こう し すすき とみお  
講師：鈴木 富雄さん

さん か ひ むりよう  
参加費：無料

と あ ど い り ん ぼ か ん  
問い合わせ：土居隣保館 0896-28-6356 (8時30分～17時15分)



とうよちくじんけんどうわきょういくけんきゅうきょうぎかい

東予地区人権・同和教育研究協議会

10月28日に令和7年度東予地区人権・同和教育研究協議会が開催されました。

私は土居高校の公開授業を参観させていただきました。授業では～地域の先人の生き方から学ぶ～と題し、岩崎伊三郎さんの生き方から学ぶ授業でした。

がっこういこ

○学校に行けない子どもたち

当時、住民の多くは、行商によって生計を立てていました。一度行商に出ると家

に帰るのは、盆と正月、その他1、2回でした。親が家にいないため、子どもたちは家

の手伝いや子守りで学校に行くことができませんでした。学校に行けた子どもたちも

差別され、守ってくれる先生もいませんでした。学校に居場所がなかった子どもたちは、

学校に行けなくなりました。

じたくぶんきょうじょう

○自宅を分教場に

本来は同じ学校に通うべきだと思っていましたが、伊三郎さんはこれではいけないと

思い、自宅で子どもたちに勉強を教え始めました。やがて分教場と認められ、自ら

教員となり教えました。伊三郎さんの分教場は15年間続きました。

いさぶろうおしひつ

○伊三郎さんの教えを引き継ぐ

差別を許さない・差別に立ち向かっていく伊三郎さんの生き方は分教場で育った人

たちに受け継がれ、次の世代に繋がっていきました。伊三郎さんの思いを継いだ青年た

ちは小学生を集め、毎晩勉強を教えるようになりました。

いりあいけんかくとく

○入会権の獲得

入会権とは、地域の住民が一定の山林や原野を共同で使用する権利です。

電気もガスもない時代、燃料は薪や枯れ枝、雑木などでした。それらは、食事を作ったり、風呂を沸かしたりする生活に必要な物でした。

そんな時、村の人の国有林への入会権が拒否されるという出来事が起こりました。

生活を守るために、村の人たちは入会権の獲得を求め裁判を起こしました。長い裁判の

間、伊三郎さんはくじけそうになる住民の家を1軒1軒回り、励まし続けました。

伊三郎さんを信じた村の人たちは、一致団結し、裁判を闘い抜きました。そして、全面

勝訴を勝ち取りました。入会権の獲得は、生活を守る闘いであり、不当な差別との闘

いでもありました。

このような伊三郎さんの差別を許さない、差別に立ち向かっていく思いは青年団に

引き継がれ、おじいちゃん・おばあちゃん世代の人、親の世代の人へと受け継がれ、そ

して今を生きる生徒たちに引き継がれ、生徒たちがまた、次の世代へと引き継いでいく

ことが大切であると学びました。また、差別を自分のこととして捉え、差別をなくすた

めに自分にできることは何なのかを生徒と一緒に考えました。今の自分にできること

は、正しいことを学び続け、正しいことを周りに広めていくことで差別を許さない仲間

と繋がっていくことだと改めて感じました。



入場料  
無料

2025

人権のつどい

四国中央市

12月7日(日)

14:00～16:30 (開場 13:30)

土居文化会館(ユウホール)

市民一人ひとりが人権意識を高め、すべての市民がお互いの人権を尊重し、差別のない、明るく、幸せな暮らしの実現を目的とする。

●小・中学生 人権作品 表彰式及び発表

●人権講演会

●作品展示・交流ブース(啓発)

人権講演会

14:30～16:00

演題：日常の中の部落差別  
～差別をなくすのに必要なことって？～

講師：上川 多実 さん  
(BURAKU HERITAGE メンバー)

主催：四国中央市・四国中央市教育委員会・東予地区人権啓発活動ネットワーク協議会

2025 四国中央市人権のつどい

とき 12月7日(日)  
14:00～16:30(開場13:30)

ところ 土居文化会館(ユウホール)

目的 市民一人ひとりが人権意識を高め、すべての市民がお互いの人権を尊重し、差別のない、明るく、幸せな暮らしの実現を目的とする。

スケジュール：ホール会場

13:30 開場

14:00～14:05 開会行事

14:05～14:30 小・中学生 人権作品 表彰式及び発表

14:30～16:00 人権講演会

演題：日常の中の部落差別  
～差別をなくすのに必要なことって？～

講師：上川 多実 さん  
(BURAKU HERITAGE メンバー)

作品展示・交流ブース：ロビー会場 13:30～16:30

【講師プロフィール】

上川 多実 さん

1980年東京生まれ。  
関西の放送局出身の現職のらと。東京で育つ。  
「わたし」から始まる「部落の情報発信サイト BURAKU HERITAGE」の運営メンバー(唯一人で、世代の異なる部落差別について、講演や展示などの活動を行っている。

著書に『「わたし」 なんているの？見えない部落差別と私の日常』墨山社。共著に『部落の私たちがリモートで好き勝手にしゃべってみた』解放出版社。